



投資環境レポート 2019年8月号

1. 先月の回顧と今後の相場見通し（要旨）

<先月の回顧>

① 株式市場

日経平均株価は前月比+245円と小幅上昇（騰落率+1.15%、月末終値 21,521円）。米中首脳会談における通商協議再開合意が好感され株価は上昇したが、韓国への輸出規制強化および消費増税確定により上値の重い展開。8月1日、中国からの輸入品 3,000億ドル（約 32兆円）に9月1日より10%関税とのトランプ大統領の発表を受け、8月2日の日経平均株価は▲454円安と今年2番目の下げ幅を記録。その後中国が中国企業の米国農産物購入停止発表などの対抗姿勢を示したことから、米中問題の対立激化懸念により8月2日～6日の3営業日で日経平均株価は▲955円の大幅下落。

② 為替市場

米ドル円相場は、108円を中心としたレンジ内で推移（月末気配：1ドル 108円 74銭）。月末のFOMCまで様子見姿勢が強まり、狭いレンジ内でもみ合い。8月1日の対中関税第4弾の発表でリスク回避姿勢が強まり、米中対立懸念の高まりから8月6日には105円51銭まで円高ドル安進行。

③ 債券市場

日本10年国債利回りは、月末値▲0.161%（前月末比+0.006%）と狭いレンジ内で推移。日本銀行の金融緩和姿勢の継続から小幅な変動で推移。

<今後の相場見通し>

① 株式市場

日経平均株価は、一時的な下値模索ののち金融市場の落ち着きとともに持ち直しを予想。日経平均の予想PER（株価収益率）は11倍台まで低下しており、米国株の回復とともに割安な指標に着目した株式投資再開を見込む。

（今月の予想レンジ）日経平均株価 19,500～22,000円 NYダウ 24,500～27,500ドル

② 為替市場

米ドル円相場は一時的に円高を試すが、米国経済の堅調推移から緩やかに米ドル高円安基調への回帰を予想。FRBの今回の利下げは、持続的な景気拡大の維持が目的で、米国株式の回復とともに米ドルが買い戻される展開を想定。

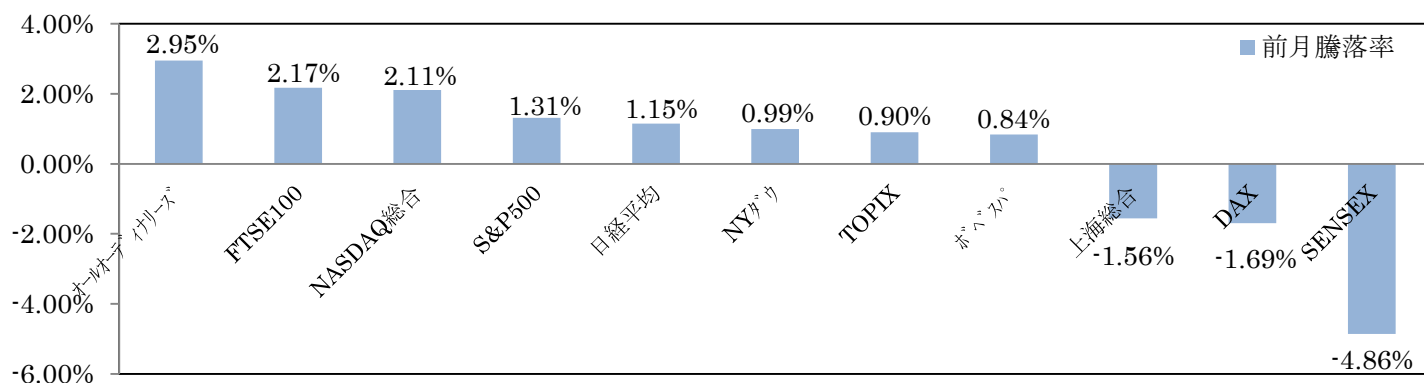
（今月の予想レンジ）米ドル円 104.50～109.00円 ユーロ円 115.00円～126.00円

③ 債券市場

日本10年国債利回りは、横ばい推移を予想。7月の日銀金融政策決定会合で、経済の減速傾向が強まれば「躊躇（ちゅうちょ）なく、追加的な金融緩和措置を講じる」と敢えて明記したが、追加緩和には副作用が伴うため日銀は動きにくく、金利はマイナス圏での膠着を予想。

（今月の予想レンジ）日本10年国債利回り ▲0.25～▲0.10% 米国10年国債利回り 1.50～2.00%

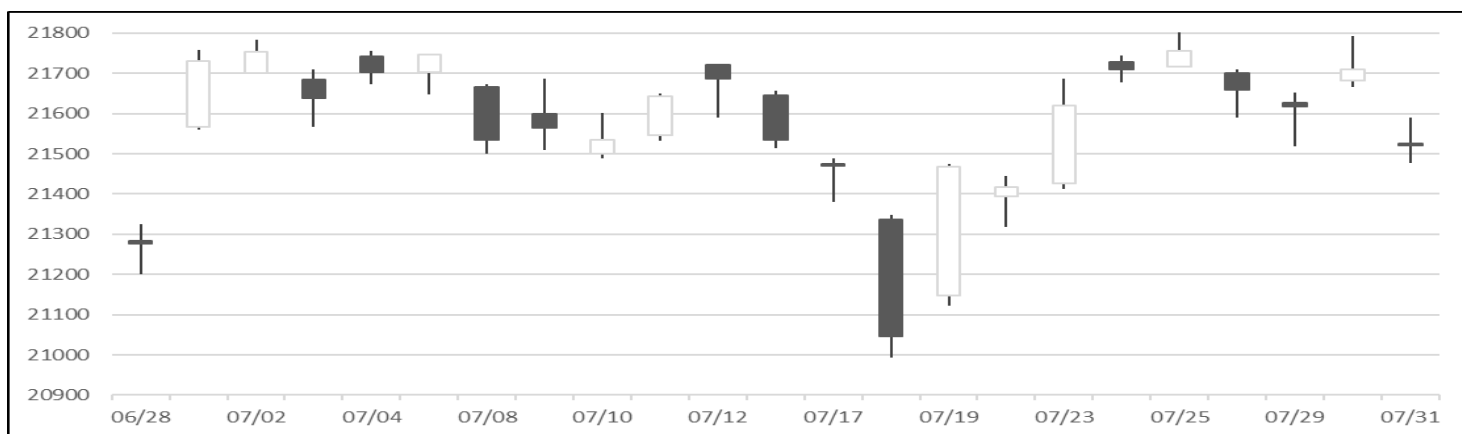
2. 株式 < 主要株式指標 前月騰落率 >



< 主要株式指標 月末終値 >

| 日経平均 | TOPIX | NYダウ | S&P500 | NASDAQ | DAX | FTSE100 | オーストラリア | 上海総合 | ロンドン | SENSEX |
|-----------|----------|-----------|----------|-----------|-----------|----------|---------|-----------|-----------|-----------|
| 日本 | 日本 | アメリカ | アメリカ | アメリカ | ドイツ | イギリス | オーストラリア | 中国 | フランス | インド |
| 21,521.53 | 1,565.14 | 26,864.27 | 2,980.38 | 8,175.419 | 12,189.04 | 7,586.78 | 6,896.7 | 2,932.506 | 101,812.1 | 37,481.12 |

< 日経平均株価推移 >



(出所) : QUICK のデータを基に静銀ティーム証券が作成

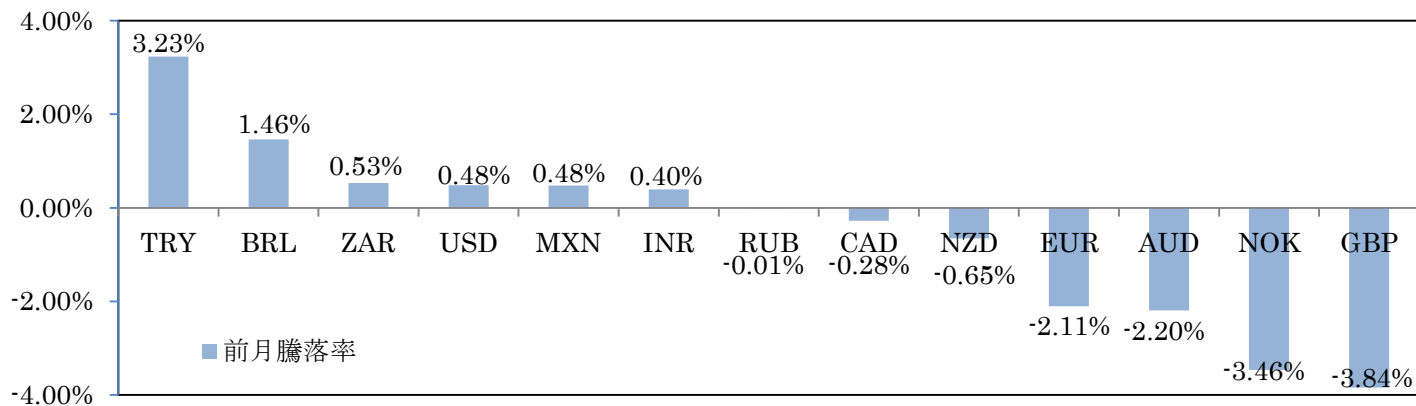
< 先月の回顧 >

- ① 日経平均株価は前月比+245円と小幅上昇(騰落率+1.15%、月末終値 21,521円)。米中首脳会談における通商協議再開合意が好感され株価は上昇したが、韓国への輸出規制強化および消費増税確定により上値の重い展開。8月1日、中国からの輸入品 3,000億ドル(約 32兆円)に9月1日より10%関税とのトランプ大統領の発表を受け、8月2日の日経平均株価は▲454円安と今年2番目の下げ幅を記録。その後中国が中国企業の米国農産物購入停止発表などの対抗姿勢を示したことから、米中問題の対立激化懸念により8月2日～6日の3営業日で日経平均株価は▲955円の大幅下落。
- ② NYダウは前月比+264ドルの小幅上昇(騰落率+0.99%、月末終値 26,864ドル)。米中通商協議再開および中国ファーフウェイへの制裁緩和報道からハイテク株中心に上昇し、NYダウ・S&P500・NASDAQ総合指数とも史上最高値更新。月末のFOMC(米連邦公開市場委員会)では、市場予想通り0.25%利下げであったが、パウエルFRB議長発言が利下げ継続を見込む市場の失望を招き、株式は売りに押され反落。また8月1日の対中関税第4弾発表で株価は消費関連銘柄中心に下落し、さらに中国の対抗姿勢から8月1日～5日の3営業日でNYダウは1,146ドル下落。

< 今後の見通し >

- ① 日経平均株価は、一時的な下値模索ののち金融市場の落ち着きとともに持ち直しを予想。日経平均の予想PER(株価収益率)は11倍台まで低下しており、米国株の回復とともに割安な指標に着目した株式投資再開を見込む。
- ② 米国株式は、値動きの荒い展開から株高トレンドへの回帰を予想。通商問題を巡る米中両国の対抗策には出尽くし感があり、トランプ大統領も米国の景気失速は望まないことから、対中追加関税実施の9月1日までに妥協点を探る動きの活発化を想定。(今月の予想レンジ) 日経平均株価 19,500～22,000円 NYダウ 24,500～27,500ドル

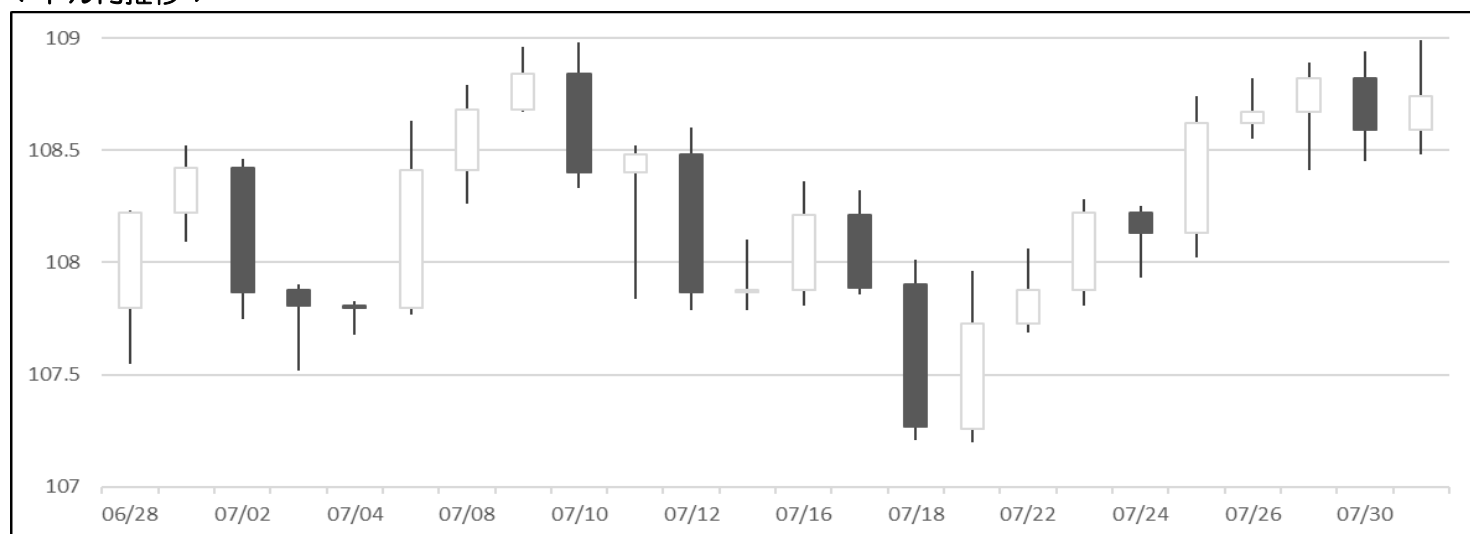
3. 外国為替 < 主要通貨対円 前月騰落率 >



< 主要通貨対円 月末気配レート >

| USD | EUR | GBP | AUD | CAD | NZD | NOK | BRL | INR | MXN | RUB | ZAR | TRY |
|--------|--------|--------|---------|-------|----------|-------|------|--------|--------|--------|-------|-------|
| アメリカ | EU | イギリス | オーストラリア | カナダ | ニュージーランド | ノルウェー | ブラジル | インド | メキシコ | ロシア | 南アフリカ | トルコ |
| 108.74 | 120.41 | 132.13 | 74.4 | 82.43 | 71.72 | 12.26 | 28.5 | 1.5755 | 5.6729 | 1.7126 | 7.62 | 19.48 |

< ドル円推移 >



(出所) : QUICK のデータを基に静銀ティーム証券が作成

< 先月の回顧 >

- ① 米ドル円相場は、108 円を中心としたレンジ内で推移（月末気配：1 ドル 108 円 74 銭）。月末の FOMC まで様子見姿勢が強まり、狭いレンジ内でもみ合い。8 月 1 日の対中関税第 4 弾の発表でリスク回避姿勢が強まり、米中対立懸念の高まりから 8 月 6 日には 105 円 51 銭まで円高ドル安進行。
- ② ユーロ円相場は、円高ユーロ安で推移（月末気配：1 ユーロ 120.41 円）。欧州の景気指標悪化および英国では EU 離脱強硬派のジョンソン氏の首相決定で、英国の EU からの「合意なき離脱」懸念の高まりからユーロは下落基調。
- ③ 新興国通貨は対円で全般的に堅調に推移。世界的な金利低下局面の中、先進国よりも相対的に金利が高い新興国通貨に資金流入。8 月 1 日からの米中対立懸念を受け新興国通貨は急落し、ブラジルレアルは 8 月 1 日 ~ 5 日の 3 営業日で 6.7% 下落。

< 今後の見通し >

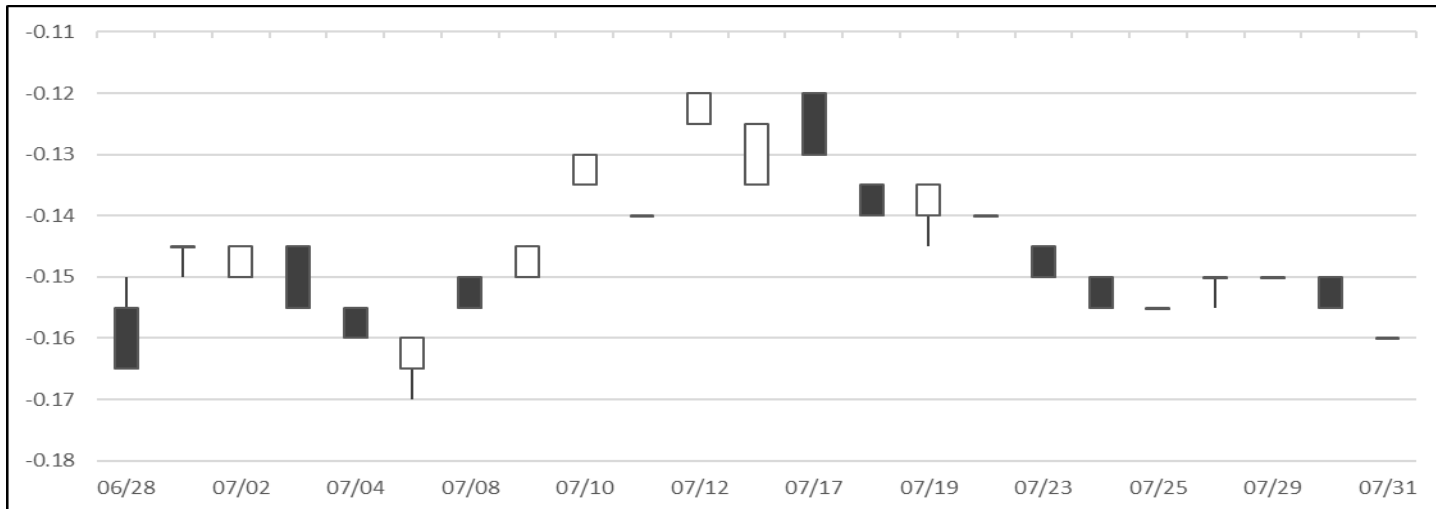
- ① 米ドル円相場は一時的に円高を試すが、米国経済の堅調推移から緩やかに米ドル高円安基調への回帰を予想。FRB の今回の利下げは、持続的な景気拡大の維持が目的で、米国株式の回復とともに米ドルが買い戻される展開を想定。
- ② ユーロ円相場は、引き続きユーロの軟調推移を予想。ECB（欧州中央銀行）の 9 月または 12 月の追加緩和観測、Brexit など政治的な不透明感の高まりからユーロ安の展開を想定。
- ③ 新興国通貨は、一時的な下値模索から徐々に買い戻される展開を予想。日米欧が金融緩和へ舵を切っているため、緩和マネーが新興国に徐々に再流入する展開を見込む。

（今月の予想レンジ）米ドル円 104.50 ~ 109.00 円 ユーロ円 115.00 円 ~ 126.00 円

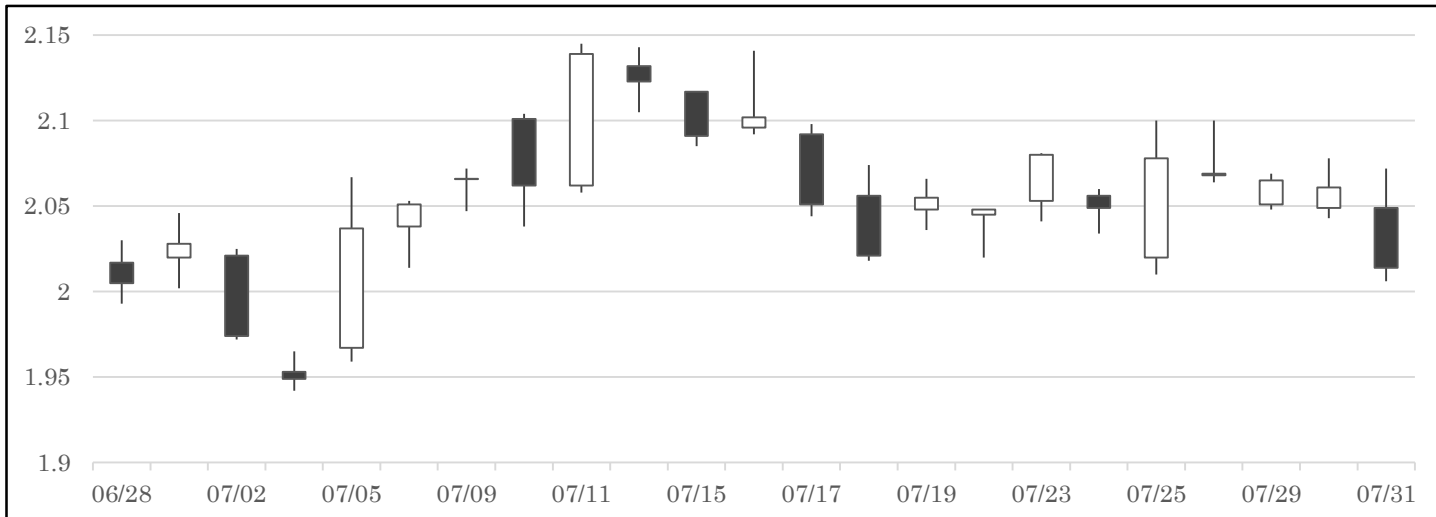
4. 債券 < 10年国債利回り 前月騰落幅 >

| | 日本 | アメリカ | ドイツ | イギリス | インド | ブラジル | メキシコ |
|----------|--------|-------|--------|--------|---------|--------|--------|
| 10年国債利回り | -0.161 | 2.014 | -0.442 | 0.608 | 6.3685 | 7.301 | 7.498 |
| 前月騰落幅 | 0.006 | 0.009 | -0.114 | -0.222 | -0.5255 | -0.234 | -0.065 |

< 日本 10年国債利回り推移 >



< 米国 10年国債利回り推移 >



(出所) : QUICK のデータを基に静銀ティーム証券が作成

< 先月の回顧 >

- ① 日本 10年国債利回りは、月末値▲0.161%（前月末比+0.006%）と狭いレンジ内で推移。日本銀行の金融緩和姿勢の継続から小幅な変動で推移。
- ② 米国 10年国債利回りは、月末値 2.014%（前月末比+0.009%）と小幅上昇。月末のFOMCに向け、米経済指標やFRB高官の発言により利下げ幅の思惑から一進一退の展開。FOMCでの0.25%の利下げは概ね想定通りだが、8月1日の対中関税第4弾発表等から、8月6日には10年国債利回りは2016年以来となる1.6%台まで一時急低下。

< 今後の見通し >

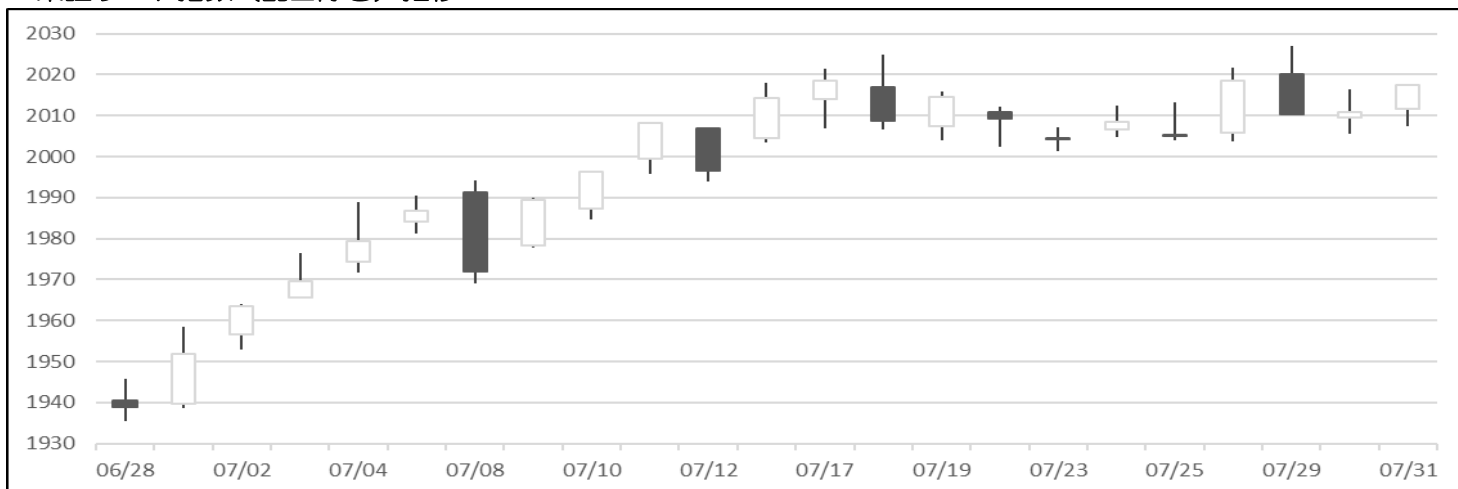
- ① 日本 10年国債利回りは、横ばい推移を予想。7月の日銀金融政策決定会合で、経済の減速傾向が強まれば「躊躇（ちゅうちょ）なく、追加的な金融緩和措置を講じる」と敢えて明記したが、追加緩和には副作用が伴うため日銀は動きにくく、金利はマイナス圏での膠着を予想。
- ② 米国 10年国債利回りは、当面金利低下傾向を予想。次回9月のFOMCで0.25%の追加利下げを見込み、当面は追加利下げ催促相場の様相。ただし、金融緩和政策にトランプ政権のインフラ投資が加わり、期待インフレ率の上昇から中長期では、10年国債利回りは、上昇トレンド回帰を想定。

（今月の予想レンジ）日本 10年国債利回り ▲0.25 ~ ▲0.10% 米国 10年国債利回り 1.50 ~ 2.00 %

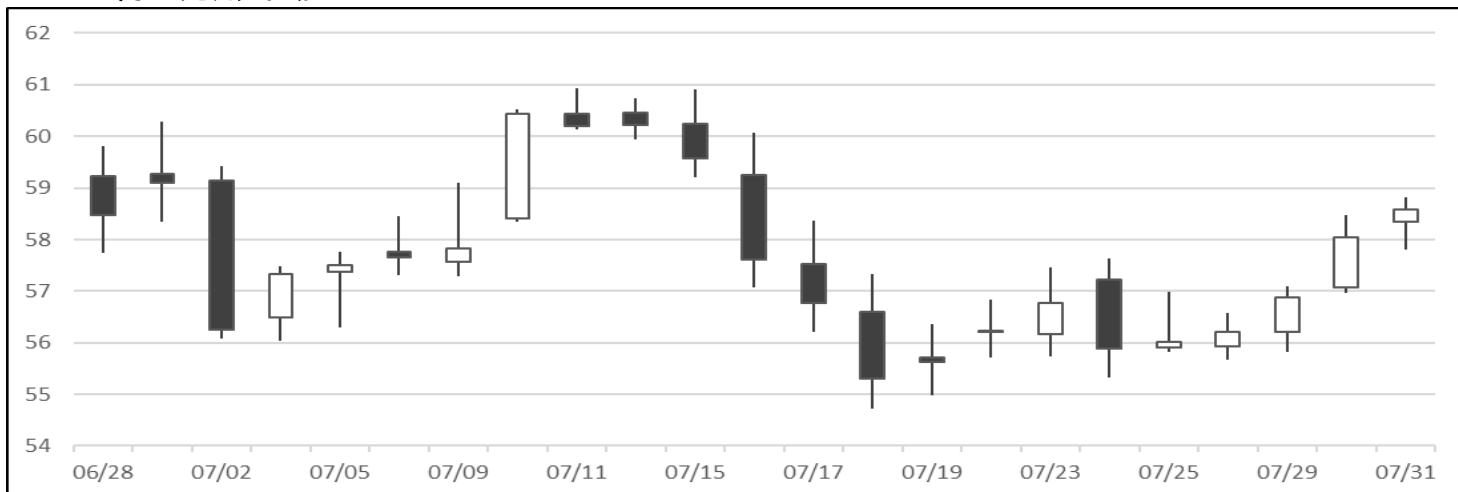
5. その他「リート、商品」〈月末気配値または終値及び前月騰落率〉

| | リート（配当除き） | | | 商品（米ドル建） | |
|----------|-----------|-------------|-------------|-----------|------------|
| | 東証リート指数 | S&P 米国リート指数 | S&P 豪州リート指数 | 原油 WTI 先物 | 金 COMEX 先物 |
| 指数（配当除き） | 2,017.48 | 334.13 | 169.64 | 58.58 | 1,437.8 |
| 前月騰落率 | 4.06 | 1.18 | 2.57 | 0.19 | 1.70 |

〈東証リート指数（配当除き）推移〉



〈WTI（原油先物）推移〉



（出所）：QUICK のデータを基に静銀ティーム証券が作成

〈先月の回顧〉

- ① Jリート（日本の不動産投資信託）市場の東証リート指数は、前月末比+78.66 ポイント上昇（月末終値：2,017 ポイント）。日本の金融緩和政策の継続に加え、世界各国の緩和的な金融政策への転換から、Jリート市場には引き続き資金が流入。東証リート指数は2007年以来の2,026 ポイントまで一時上昇。
- ② WTI（原油先物）は、前月末比+0.11 ドル小幅上昇（月末終値：58.58 ドル）。米原油在庫や米FRBによる利下げ期待、イラン情勢の動向により、一進一退の展開で終始。8月1日の対中関税第4弾の発表により、WTI（原油先物）は、一時6月19日以来の53ドル台まで下落。

〈今後の見通し〉

- ① 東証リート指数は、利益確定売りをこなしながら徐々に上昇する展開を予想。世界的な金利低下および好調な貸付市況に支えられた増配基調の継続から、引き続き資金が流入しやすい展開を見込む。
- ② WTIは、値動きが荒い展開を予想。世界経済の減速懸念や米国シェールオイルの増産ペース加速等の下落要因の一方で、サウジアラビアやロシアを中心としたOPECプラスの減産、イラン等の中東情勢の緊迫化、政情不安が続くベネズエラの産油量減少懸念などの原油価格押し上げ要因があり、原油価格は方向感の出にくい展開を想定。

（今月の予想レンジ） Jリート 1,950 ～ 2,100 ポイント WTI 45 ～ 60 ドル

6. 2019年8月のスケジュール

| 日本 | | 米国 | | その他 | |
|-----|-----------|--------|-----------------|--------|-------------------------|
| 9日 | 4-6月期 GDP | 2日 | 7月雇用統計 | 1日 | イングランド銀行 (BOE) 金融政策決定会合 |
| 14日 | 6月機械受注 | 13日 | 7月消費者物価指数 (CPI) | 6日 | 豪州金融政策決定会合 |
| 23日 | 7月CPI | 15日 | 7月小売売上高 | 7日 | インド金融政策決定会合 |
| 30日 | 7月失業率 | 22-24日 | ジャクソンホール会合 | 9日 | 英 4-6月期 GDP |
| | | 30日 | PCE コア・デフレーター | 14日 | ドイツ 4-6月期 GDP |
| | | | | 15日 | メキシコ金融政策決定会合 |
| | | | | 22日 | インド 初金融政策決定会合 |
| | | | | 24-26日 | G7 首脳会議 (フランス) |
| | | | | 30日 | ユーロ圏 8月 CPI |

(出所)：各種報道機関等の情報を基に静銀ティーエム証券が作成

◆セミナーのご案内

＜参加ご希望のお客さまは主催各店もしくは本社サポートセンター(TEL0120-23-1184)へお申し込み下さい＞

| 開催日 | 開始時間 | 終了時間 | 部支店名 | 内容 | 会場 |
|-----------|-------|-------|-------|---|-----------------|
| 2019/8/14 | 13:30 | 15:00 | 浜松北支店 | マーケット環境と5Gで変化する未来生活 | あいホール |
| 2019/8/20 | 14:00 | 15:30 | 掛川支店 | アメリカって大丈夫?今後どうなる米国経済の成長 | 生涯学習センター |
| 2019/8/20 | 10:00 | 11:30 | 浜松西支店 | 「グローバル経済と今後の見通し」 ～2020年・オリンピックに向けて～ | 入野協働センター |
| 2019/8/20 | 14:00 | 15:30 | 浜松西支店 | 「グローバル経済と今後の見通し」 ～2020年・オリンピックに向けて～ | 入野協働センター |
| 2019/8/21 | 10:30 | 12:00 | 清水支店 | 世界の投資環境と今、注目のサイバーセキュリティの世界 | 清水テルサ |
| 2019/8/23 | 13:30 | 15:00 | 熱海支店 | 2019年マーケットの展望と今注目のアジアリートのご紹介 | 静岡銀行 伊東支店 |
| 2019/8/27 | 10:00 | 11:30 | 三島支店 | 「人生100年時代」セミナー 第1部：Enjoy Your Life ～これからの人生を楽しもう～ 第2部：人生100年時代の資産設計 | 清水町地域 交流センター |
| 2019/8/27 | 14:00 | 15:30 | 三島支店 | 「人生100年時代」セミナー 第1部：Enjoy Your Life ～これからの人生を楽しもう～ 第2部：人生100年時代の資産設計 | 葦山時代劇場 映像ホール |
| 2019/8/27 | 10:30 | 12:00 | 横浜支店 | 【1部】米国の経済・マーケット環境を考える! 【2部】ダウ・ジョーンズ インデックス・オープンの運用状況 と今後の見通し | 静岡銀行 横浜支店 |
| 2019/8/27 | 14:00 | 15:30 | 横浜支店 | 【1部】世界の投資環境の見通しについて 【2部】今注目のサイバーセキュリティ | 静岡銀行 横浜支店 |
| 2019/8/28 | 10:30 | 12:00 | 横浜支店 | 【1部】米国の経済・マーケット環境を考える! 【2部】ダウ・ジョーンズ インデックス・オープンの運用状況 と今後の見通し | 静岡銀行 藤沢支店 |
| 2019/8/28 | 14:00 | 15:30 | 横浜支店 | 【1部】世界の投資環境の見通しについて 【2部】今注目のサイバーセキュリティ | 静岡銀行 藤沢支店 |

◆静銀ティーエム証券『特別セミナー』

| 開催日 | 開始時間 | 終了時間 | 部支店名 | 内容 | 会場 |
|-----------|-------|-------|-------|--|-------|
| 2019/8/25 | 10:00 | 11:30 | 中部エリア | 【第1部】静岡ガス株式会社 会社説明会 【第2部】2019年末に向けての為替相場見通し | アゴラ静岡 |

◆静銀ティーエム証券・静岡銀行共催『資産形成セミナー』

| 開催日 | 開始時間 | 終了時間 | 部支店名 | 内容 | 会場 |
|-----------|-------|-------|-------|--------------------------------------|-------|
| 2019/8/24 | 10:00 | 12:00 | 西部エリア | 「長生き人生のため、今、始められること～世界の成長を取り込む投資術～」 | アゴラ浜松 |
| 2019/9/8 | 10:00 | 12:00 | 西部エリア | トランプ時代の通貨戦略 | アゴラ浜松 |
| 2019/9/16 | 10:00 | 12:00 | 中部エリア | 渋沢栄一の『論語と算盤』で未来を拓く～よりよい明日のためのお金の使い方～ | アゴラ静岡 |

【作成】静銀ティーエム証券(株) 商品部

佐野 寿宏 (公益社団法人日本証券アナリスト協会 認定アナリスト・日本FP協会認定CFP/1級FP技能士)
長堀 新司 (公益社団法人日本証券アナリスト協会 認定アナリスト)

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために静銀ティーエム証券が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況であり、また、見通しのない分析は作成時点での見解を示したものです。したがって、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等は考慮しておりません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の静銀ティーエム証券商品部の見解です。また、静銀ティーエム証券が取り扱う商品における投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

● 投資信託にかかるご注意

◆ お客様にご負担いただく費用

直接ご負担いただく費用 ・ 申込手数料 上限 3.78% (税込) ・ 信託財産留保額 上限 0.5%
間接的にご負担いただく費用 ・ 信託報酬 上限 2.376% (税込) ・ その他の費用 監査報酬、売買委託手数料等

※「その他の費用」につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を表示できません。

また、費用等の合計額につきましても、申込金額や保有期間等に応じて異なりますので表示できません。

※上記の費用の料率につきましては、当社が販売する投資信託のうち、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※外貨建て外国投資信託の売買、償還等にあたり、円貨と外貨を交換する際には、当社が決定した適用為替によるものとします。

◆ 投資信託のリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や債券、REIT、その他の有価証券等を投資対象としますので、組入有価証券等の価格の下落（価格変動リスク）や、組入有価証券等の発行会社の倒産や財務状況の悪化（信用リスク）、また外貨建資産に投資する場合には為替の変動（為替リスク）等の影響により基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。ファンドによっては、換金できない期間がある場合や、1日あたりの換金額が制限される場合があります。

詳細は各ファンドの契約締結前交付書面（投資信託説明書（交付目論見書）および補完書面）をご確認ください。

● 上場有価証券等にかかるご注意

◆ お客様にご負担いただく費用

上場有価証券等の売買にあたっては以下の手数料をいただきます。

- ・ 日本株式 約定代金に対して税込み最大 1.188% (最低料金 1,620 円)
- ・ 新株予約権付社債 約定代金に対して税込み最大 1.188% (最低料金 2,700 円)
- ・ 外国株式 約定代金に対して税込み最大 1.080%

◆ 上場有価証券等のリスクについて

株式相場、金利水準、為替相場等の変動等によって上場有価証券等の価格が変動し、損失が生じるおそれがあります。上場有価証券等の発行者等の業務や財産の状況の変化によって上場有価証券等の価格が変動し、損失が生じるおそれがあります。

上場有価証券等のお取引の際は、あらかじめ上場有価証券等書面をよくお読みください。

● 円貨建て・外貨建て債券にかかるご注意

◆ お客様にご負担いただく費用

債券を募集・売出し等により、または当社との相対取引により購入する場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

外貨建て債券の売買、償還等にあたり円貨と外貨を交換する際には、当社が決定した為替レートによるものとします。

◆ 債券のリスクについて

債券の市場価格は、基本的に市場の金利水準の変化に対応して変動します。したがって売却の場合は売却損が生じるおそれがあります。

外貨建て債券は為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがあります。債券の発行者等の業務や財産の状況の変化によって債券の価格が変動し、売却損が生じるおそれがあります。

上記は、債券のすべてのリスクを表記したものではありませんので、お取引の際は、あらかじめ契約締結前交付書面をよくお読みください。

SHIZUGIN TM SECURITIES



静岡ディーエム証券株式会社

静岡市追手町1番13号(アゴラ静岡4階) 〒420-0853

TEL.(054)254-6111 FAX.(054)205-1925

URL <http://www.shizuginm.co.jp/>